

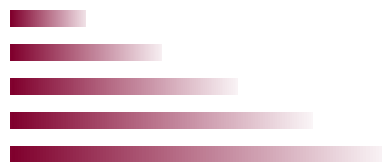


アイカ工業株式会社
2026年3月期第2四半期(中間期)
決算説明会



VALUE CREATION
3000 & 300

2025年11月26日
証券コード：4206



1. ハイライト

2. 2026年3月期 中間期 実績

3. 2026年3月期 中間期 セグメント別実績

4. 2026年3月期 計画

5. 2026年3月期 セグメント別計画

6. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

連結業績

- 売上高・営業利益・経常利益・中間純利益※1は**過去最高を更新**
- 営業利益・経常利益・中間純利益※1は**5期連続増益**

化成品

- 国内：塗り壁材などの建設樹脂が好調
- 海外：AAPグループ※2、EMCグループ※3ともに減収減益

建装建材

- 国内：**高付加価値商品を中心に伸長**し、業績に貢献
- 海外：中国の不動産市況低迷により低調に推移

今期計画

- 通期で**過去最高**の売上高・営業利益・経常利益・当期純利益※1を計画

配当

- 2026年3月期は前期実績より**10円増配となる136円**を予定

成長投資

- M&Aを中心に全方位で投資機会を模索しており、現在、鋭意検討中

※1 親会社株主に帰属する中間純利益および当期純利益

※2 AAP：アイカ・アジア・パシフィック

※3 EMC：エバモア・ケミカル

1. ハイライト

2. 2026年3月期 中間期 実績

3. 2026年3月期 中間期 セグメント別実績

4. 2026年3月期 計画

5. 2026年3月期 セグメント別計画

6. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

2-1. 連結決算の概要

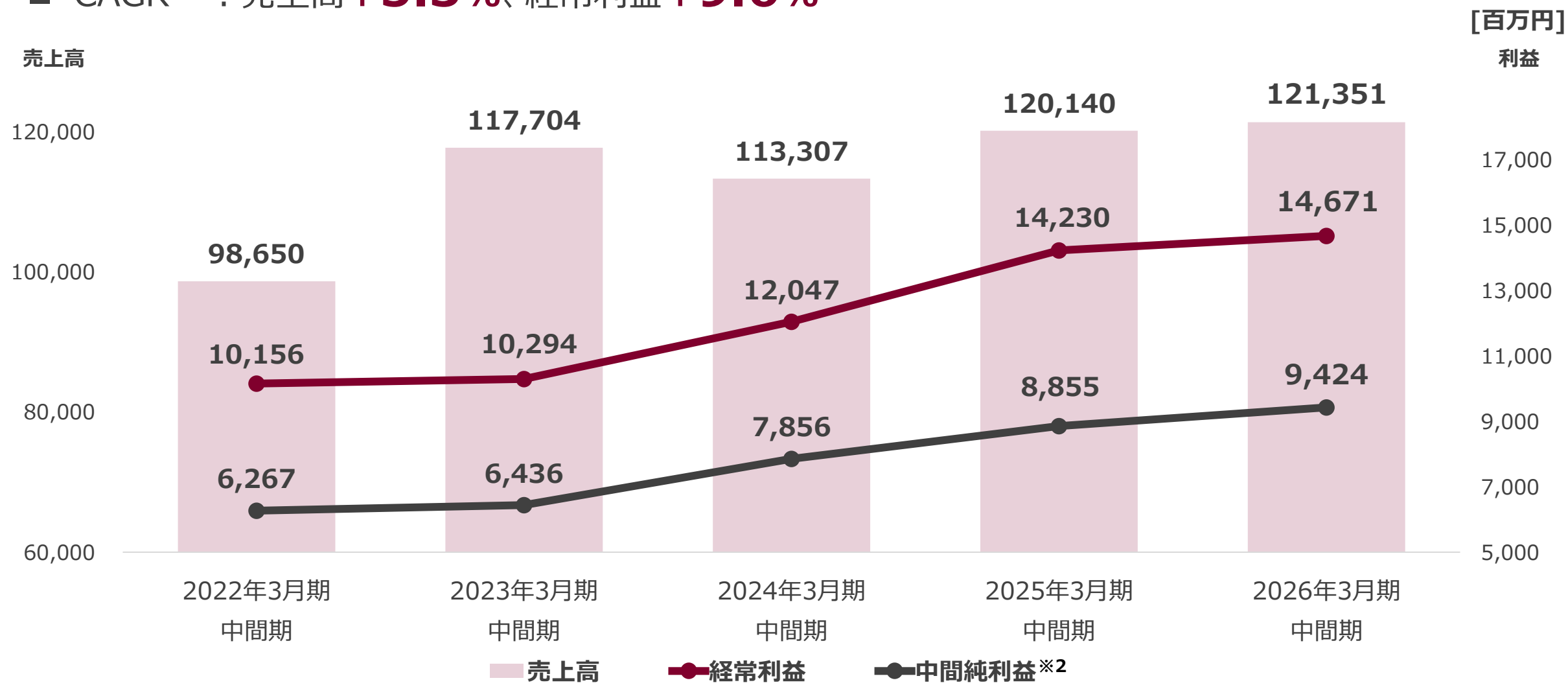
- 売上高・営業利益・経常利益・中間純利益※：**過去最高**を更新
- 営業利益・経常利益・中間純利益※：**5期連続増益**

	2025/3期 中間期		2026/3期 中間期				
	実績	利益率	計画	実績	利益率	前期比	達成率
売上高 [百万円]	120,140	—	126,600	121,351	—	+1.0%	95.9%
営業利益 [百万円]	13,147	10.9%	13,600	13,348	11.0%	+1.5%	98.1%
経常利益 [百万円]	14,230	11.8%	14,300	14,671	12.1%	+3.1%	102.6%
中間純利益※ [百万円]	8,855	7.4%	8,900	9,424	7.8%	+6.4%	105.9%
1株当たり 中間純利益 [円]	138.44	—	141.79	151.29	—	+9.3%	106.7%

※ 親会社株主に帰属する中間純利益

2-2. 連結決算の推移

■ CAGR※1：売上高+5.3%、経常利益+9.6%



※1 2022/3期 – 2026/3期の年平均成長率

※2 親会社株主に帰属する中間純利益

2-3. セグメント別業績

■ 営業利益：計画に対して化成品は下振れ、建装建材は上振れ

[百万円]	売 上 高					営 業 利 益					
	2025/3期 中間期 実績	2026/3期 中間期 実績	前期比	2026/3期 中間期 計画	達成率	2025/3期 中間期 実績	2026/3期 中間期 実績	前期比	2026/3期 中間期 計画	達成率	
化 成 品	67,571	66,973	△0.9%	69,750	96.0%	4,619	4,368	△5.4%	4,760	91.8%	金額
						6.8%	6.5%	—	6.8%	—	利益率
建 装 建 材	52,569	54,378	+3.4%	56,850	95.7%	10,518	11,231	+6.8%	11,000	102.1%	金額
						20.0%	20.7%	—	19.3%	—	利益率
(配賦不能営業費用)						△1,990	△2,252	—	△2,160	—	金額
合 計	120,140	121,351	+1.0%	126,600	95.9%	13,147	13,348	+1.5%	13,600	98.1%	金額
						10.9%	11.0%	—	10.7%	—	利益率

2-4. 海外売上高



[億円]	2025/3期 中間期実績		2026/3期 中間期実績		
	売上高	海外売上比率	売上高	前期比	海外売上比率
化 成 品	483.3	71.5%	474.4	△1.8%	70.8%
建 装 建 材	96.8	18.4%	86.4	△10.7%	15.9%
合 計	580.1	48.3%	560.9	△3.3%	46.2%

2-5. 【参考】主要財務項目 of 状況（連結）



[億円]	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	2026/3期 中間期
研 究 開 発 費	19.4	20.6	21.2
減 価 償 却 費	30.2	35.5	37.9
設 備 投 資 額	34.8	38.6	42.6
借 入 金 残 高	123.2	119.7	104.1
自 己 資 本 比 率	58.5	60.9	62.4

1. ハイライト
2. 2026年3月期 中間期 実績
- 3. 2026年3月期 中間期 セグメント別実績**
4. 2026年3月期 計画
5. 2026年3月期 セグメント別計画
6. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

3-1. 化成品セグメント 商品群別売上実績



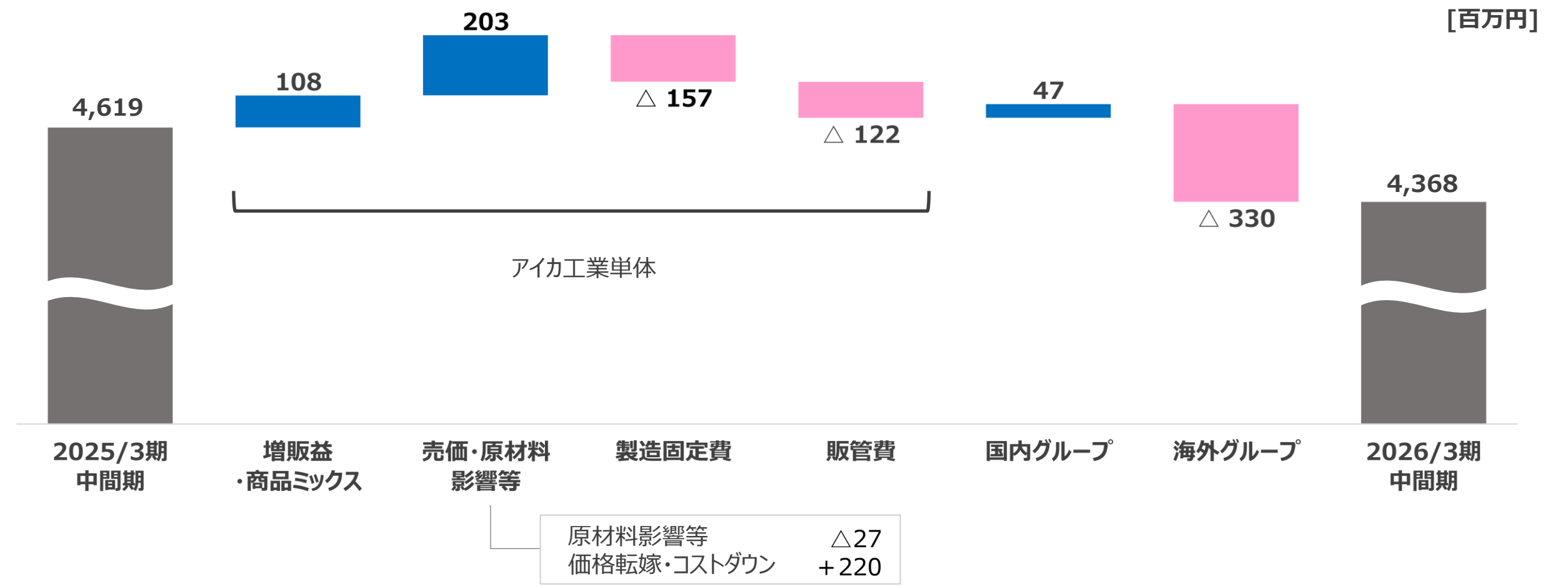
■ 接着剤、機能材料：減収、建設樹脂：増収

【億円】	2025/3期		2026/3期			
	中間期 実績	通期 実績	中間期 計画	中間期 実績	前期比	達成率
接 着 剤	464.4	958.9	480.0	460.3	△0.9%	95.9%
(うちAAP※グループ)	(360.1)	(747.4)	(372.0)	(352.8)	(△2.0%)	(94.9%)
建 設 樹 脂	52.9	109.7	55.0	54.3	+2.7%	98.8%
機 能 材 料	89.3	179.6	91.5	82.5	△7.6%	90.2%
そ の 他	69.0	137.5	71.0	72.4	+5.0%	102.1%
合 計	675.7	1,385.8	697.5	669.7	△0.9%	96.0%

※ AAP：アイカ・アジア・パシフィック

3-2. 化成品セグメント 営業利益実績

■ 単体、国内グループは増益、海外グループは減益

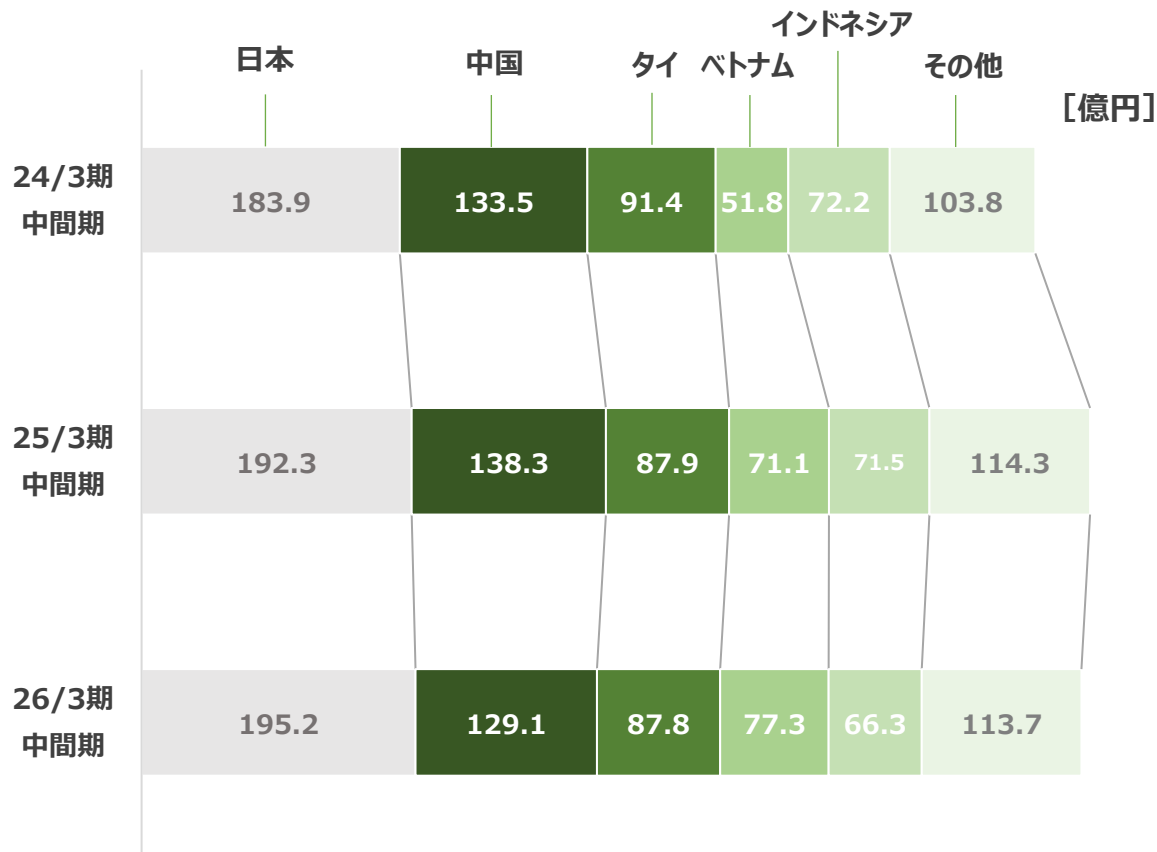


※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

3-3. 化成品セグメント 実績（海外）

■ 2026年3月期中間期において、AAPグループは中国市況の悪化に直面

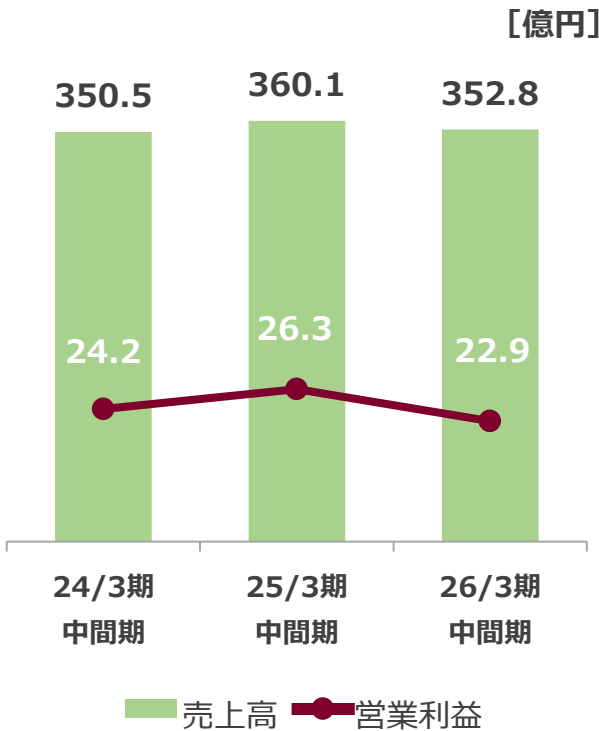
国別売上実績



海外グループ業績

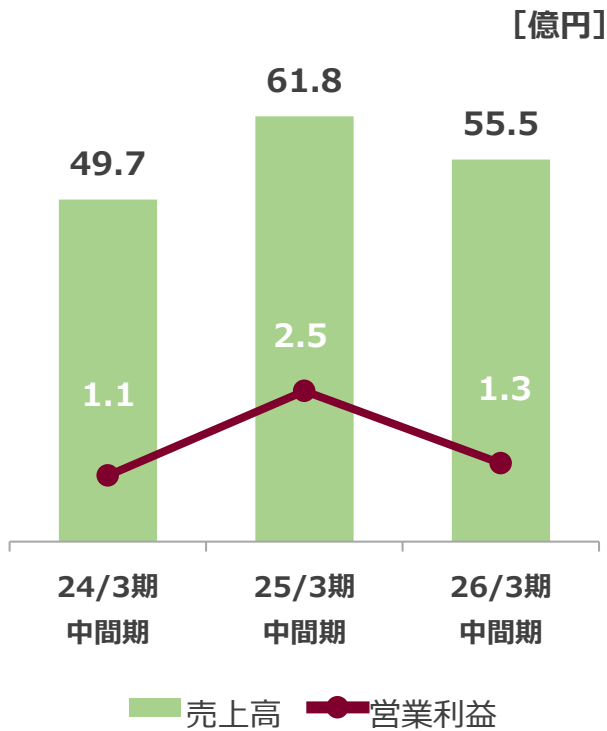
AAP※グループ

※ AAP : アイカ・アジア・パシフィック



EMC※グループ

※ EMC : エバモア・ケミカル

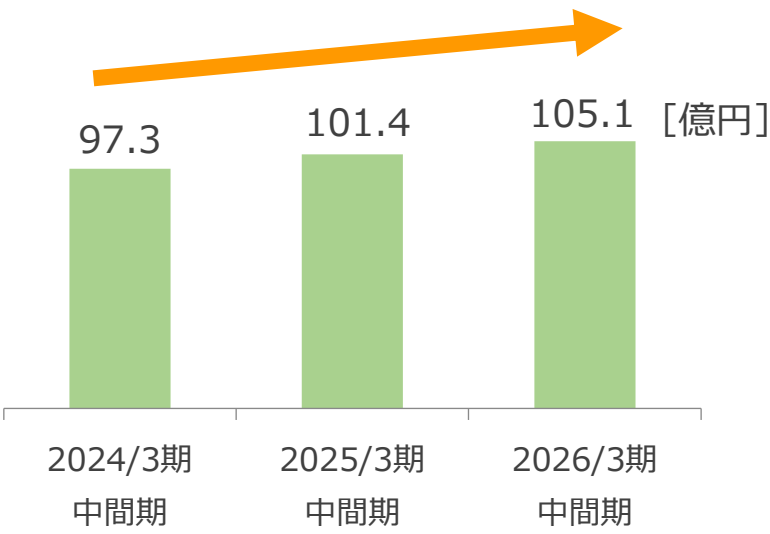


[連結取引消去前・のれん償却前]

3-4. 化成品セグメント 売上実績（国内）

接着剤

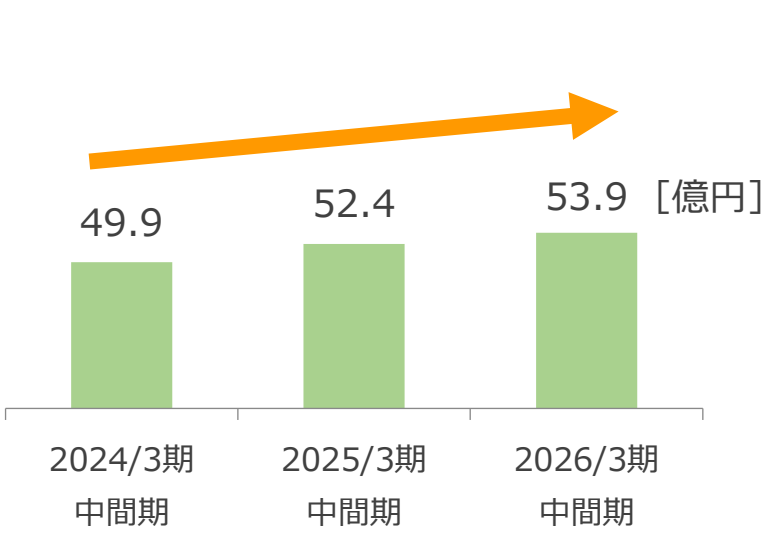
各種接着剤・フェノール樹脂など



- 梱包用のホットメルトが好調
- 合板用接着剤や繊維・塗料用アクリルエマルジョンも堅調

建設樹脂

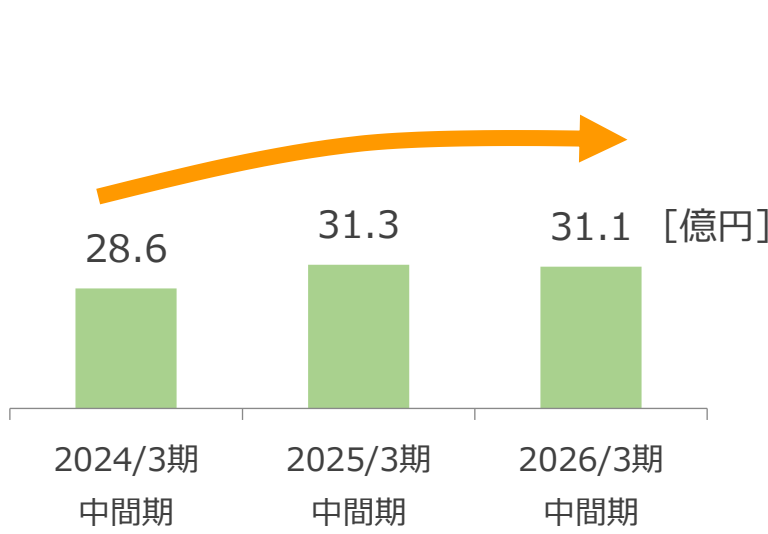
塗り壁材・塗り床材・補修補強材



- 塗り床材は前年好調による反動減
- 一方、塗り壁材「ジョリパット」が好調

機能材料

有機微粒子・UV硬化型樹脂など



- 電子材料用の高機能フィルムが好調
- 一方、化粧品用の有機微粒子が低調

3-5. 建装建材セグメント 商品群別売上実績

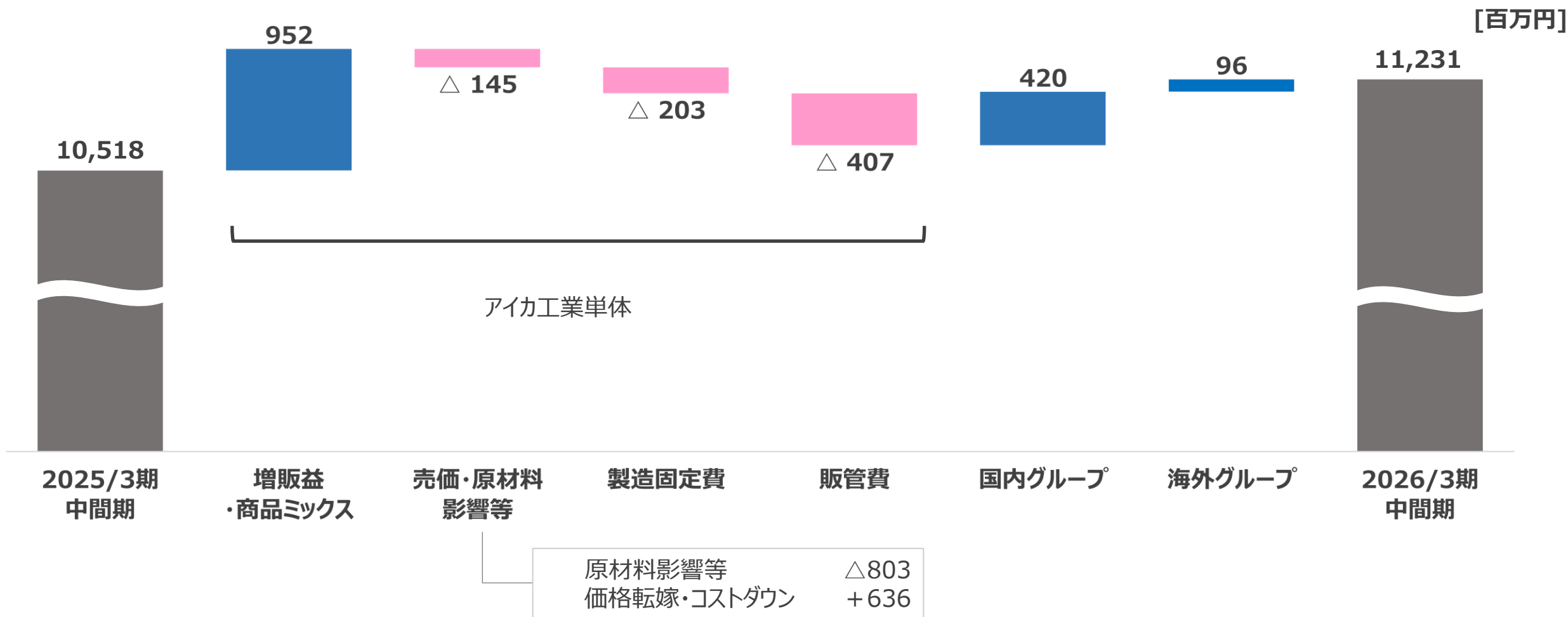
■ 高付加価値商品（メラミン化粧板・国内、セラール、住器建材）が伸長

[億円]	2025/3期		2026/3期			
	中間期 実績	通期 実績	中間期 計画	中間期 実績	前期比	達成率
メラミン化粧板	167.0	350.9	178.0	162.5	△2.7%	91.3%
ボード・フィルム等	60.9	124.6	65.5	57.0	△6.4%	87.2%
セラール	114.3	237.7	123.0	121.9	+6.6%	99.1%
不燃建材	36.4	74.1	39.0	37.5	+3.0%	96.3%
住器建材	146.8	313.5	163.0	164.6	+12.1%	101.0%
合計	525.6	1,101.0	568.5	543.7	+3.4%	95.7%

3-6. 建装建材セグメント 営業利益実績



■ 単体、国内グループ、海外グループのいずれも増益



※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

3-7. 建装建材セグメント 実績（国内）

■ 建設市場が厳しい環境にあるなか、高付加価値商品が伸長（26年3月期中間期：前年比+9.6%）

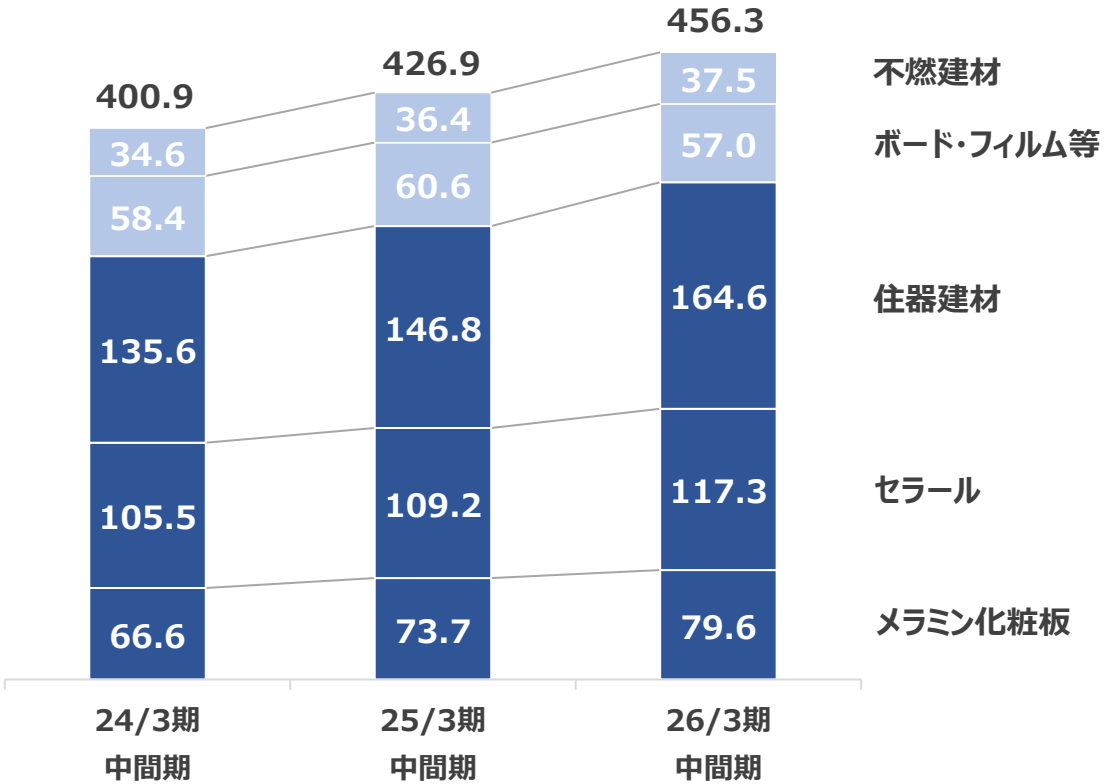
国内建設市場（前年同期比）

※当社需要期へタイムラグ調整済み

	住宅	非住宅
新 築	△5.9%	△12.6%
2024年7月～2025年6月分	(着工戸数)	(着工面積)
リフォーム・リニューアル	△7.8%	+ 14.8%
2025年1月～6月分	(受注高)	(受注高)

国内売上実績の推移

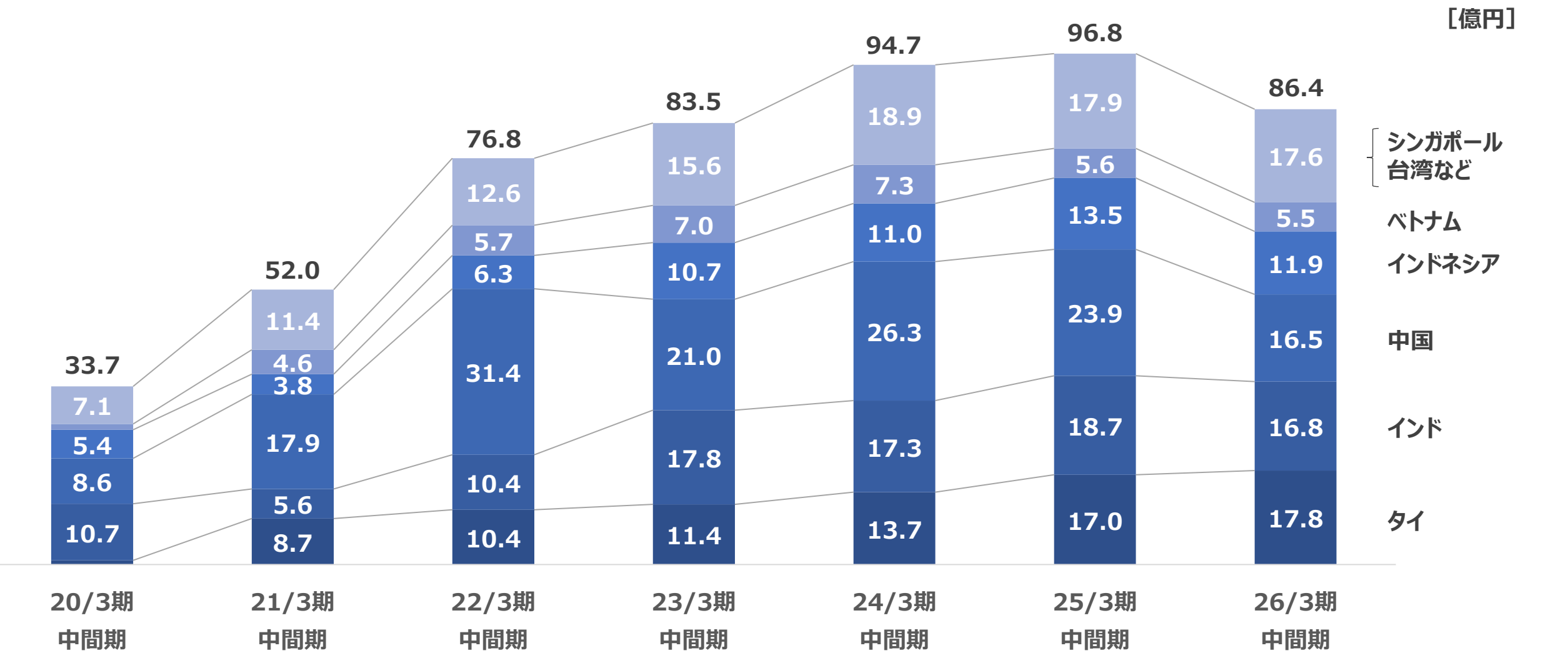
[数値は各国内拠点の売上集計値] [億円]



※このスライドでは、メラミン化粧板、セラール、住器建材を高付加価値商品と定義しています

3-8. 建装建材セグメント 国別売上実績（海外）

■ 2026年3月中間期は中国の不動産市況低迷などを背景に減収推移



1. ハイライト
2. 2026年3月期 中間期 実績
3. 2026年3月期 中間期 セグメント別実績
- 4. 2026年3月期 計画**
5. 2026年3月期 セグメント別計画
6. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

国内建設市場

	住宅（着工戸数）	非住宅（着工面積）
2025年3月期（実績）	△3.1%	△5.1%
2026年3月期（予測）[期初→最新]	△2.6% → △6.6%	△7.6% → △7.4%

※当社需要期へタイムラグ調整済み

海外市場

中国の不動産市場低迷や米国関税の影響は引き続きリスク要因となる。
一方、東南アジアは安定した成長が期待され、インドでは製造業や技術分野を軸に高い成長が見込まれる。

為替換算レート

2025年3月期（実績）	1USD = 151.43円
2026年3月期（予測）	1 USD = 150.00円

※各国通貨建てのため、ドル建ての子会社は数社のみ

国産ナフサ価格

	中間期	通期
2025年3月期	75,800円/kl（実績）	75,500円/kl（実績）
2026年3月期	69,900円/kl（実績）	67,200円/kl（予測）

※すべての原材料がナフサに連動するわけではない

■ 期初計画を据え置き、売上高・利益ともに過去最高を計画

	2025/3期 実績		2026/3期 計画			
	金額	利益率	金額	利益率	前期比	増減額
売上高 [百万円]	248,696	—	265,000	—	+6.6%	+16,304
営業利益 [百万円]	27,408	11.0%	29,000	10.9%	+5.8%	+1,592
経常利益 [百万円]	28,668	11.5%	30,000	11.3%	+4.6%	+1,332
当期純利益※ [百万円]	16,896	6.8%	18,300	6.9%	+8.3%	+1,404
R O E	10.1%	—	10%以上	—	—	—
1株当たり 当期純利益 [円]	266.36	—	291.55	—	—	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

4-3. 2026年3月期 通期セグメント別計画



■ 期初計画を据え置き、両セグメントともに、過去最高の売上高・営業利益を計画

[百万円]	売 上 高			営 業 利 益			
	2025/3期 実績	2026/3期 計画	前期比	2025/3期 実績	2026/3期 計画	前期比	
化 成 品	138,587	145,600	+5.1%	9,331	9,900	+6.1%	金額
				6.7%	6.8%	—	利益率
建 装 建 材	110,109	119,400	+8.4%	22,535	23,900	+6.1%	金額
				20.5%	20.0%	—	利益率
	(配賦不能営業費用)			△4,458	△4,800	—	金額
合 計	248,696	265,000	+6.6%	27,408	29,000	+5.8%	金額
				11.0%	10.9%	—	利益率

1. ハイライト
2. 2026年3月期 中間期 実績
3. 2026年3月期 中間期 セグメント別実績
4. 2026年3月期 計画
- 5. 2026年3月期 セグメント別計画**
6. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

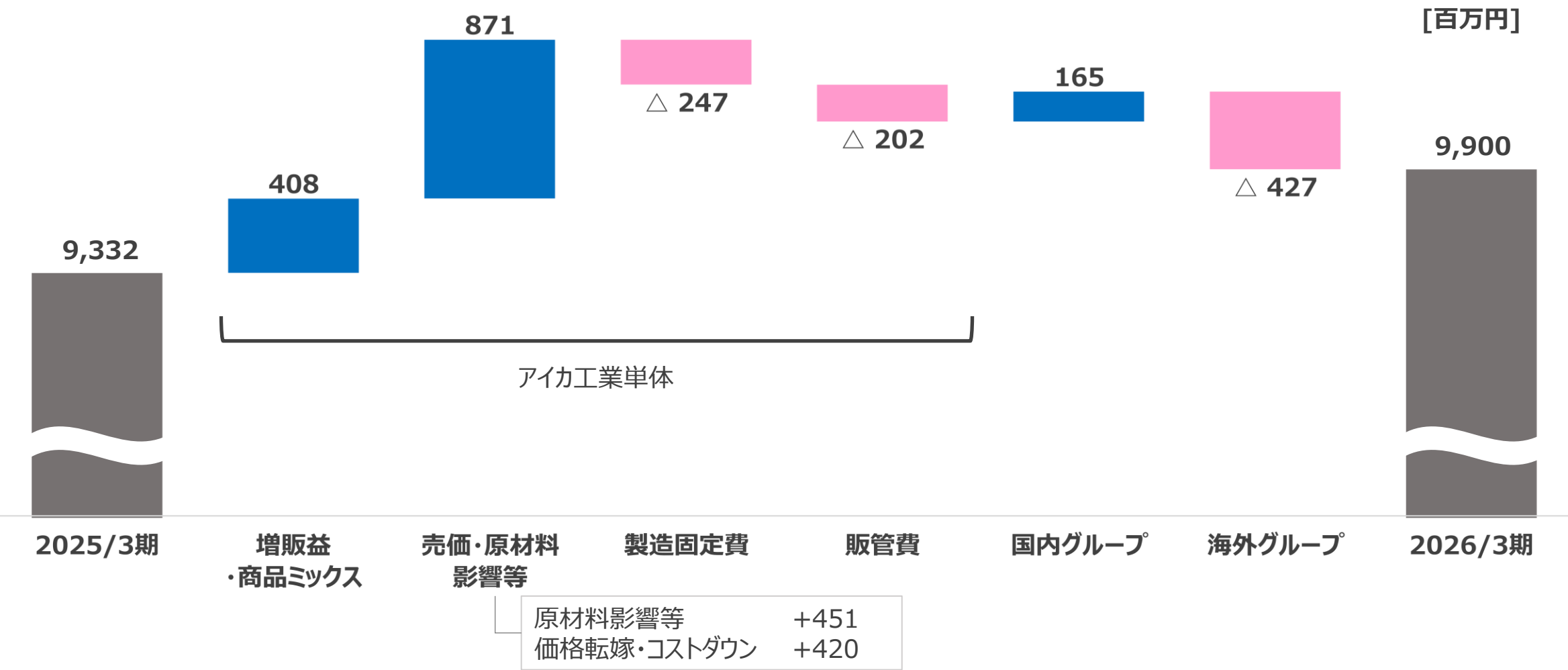
■ 全ての商品群において前年を上回る売上を計画

[億円]	2025/3期 実績	2026/3期 計画	
	通期	通期	前期比
接 着 剤	958.9	1,003.0	+4.6%
(うち AAP ※ グループ)	(747.4)	(782.0)	(+4.6%)
建 設 樹 脂	109.7	115.0	+4.8%
機 能 材 料	179.6	195.0	+8.6%
そ の 他	137.5	143.0	+4.0%
合 計	1,385.8	1,456.0	+5.1%

※ AAP : アイカ・アジア・パシフィック

5-2. 化成品セグメント 営業利益計画

■ 海外は厳しい状況が続くものの、アイカ工業単体で価格転嫁などの採算性改善により増益を計画

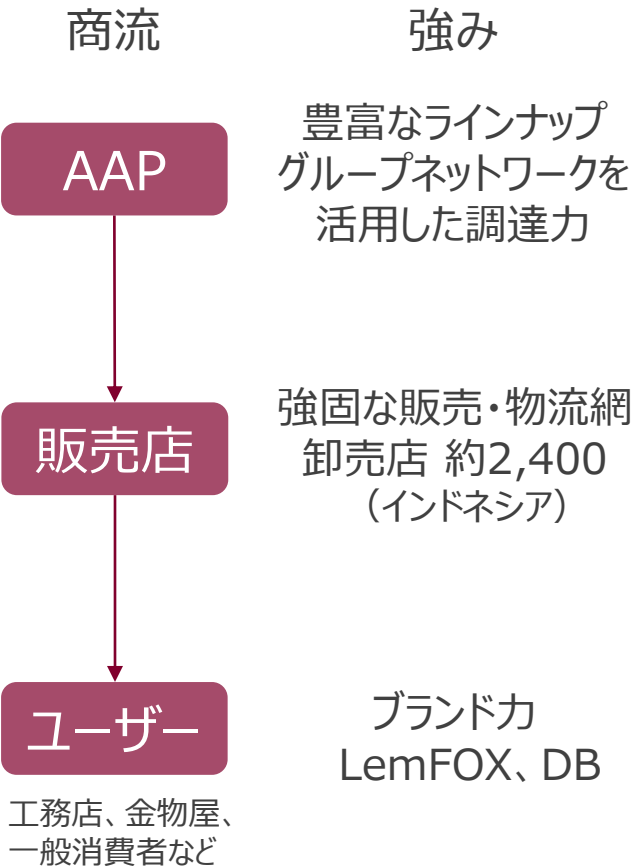


※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

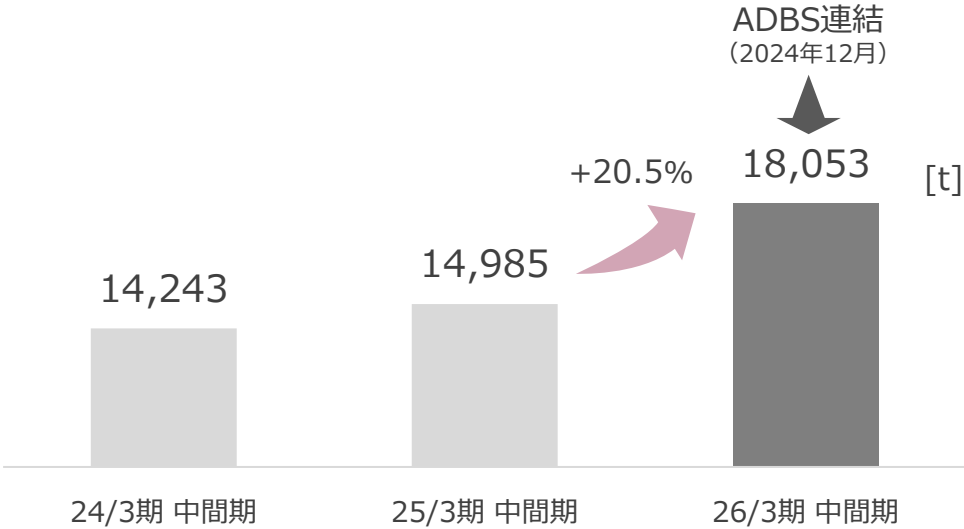
リテール向け強化

■ リテール向け強化で高付加価値品を拡大、商品ミックス改善

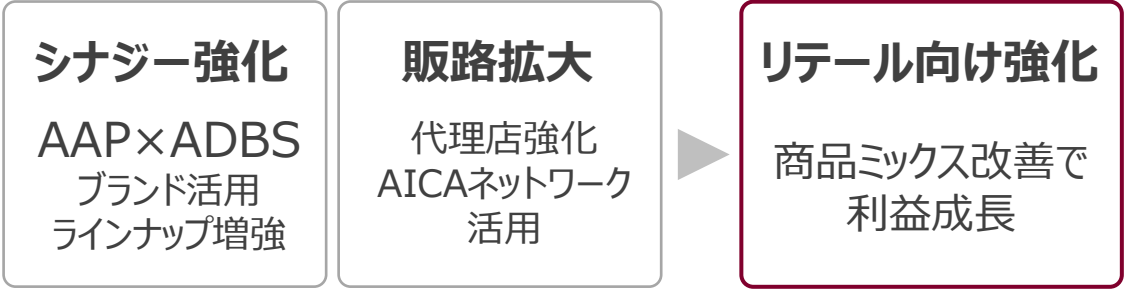
リテール市場におけるAAPの強み



リテール向け販売量拡大



今後の方策



5-4. 化成品セグメント 海外 AAPグループ方策

福建工場 稼働

- 福建エリアの需要獲得に向け、2025年8月に操業開始

アイカ福建工場 概要



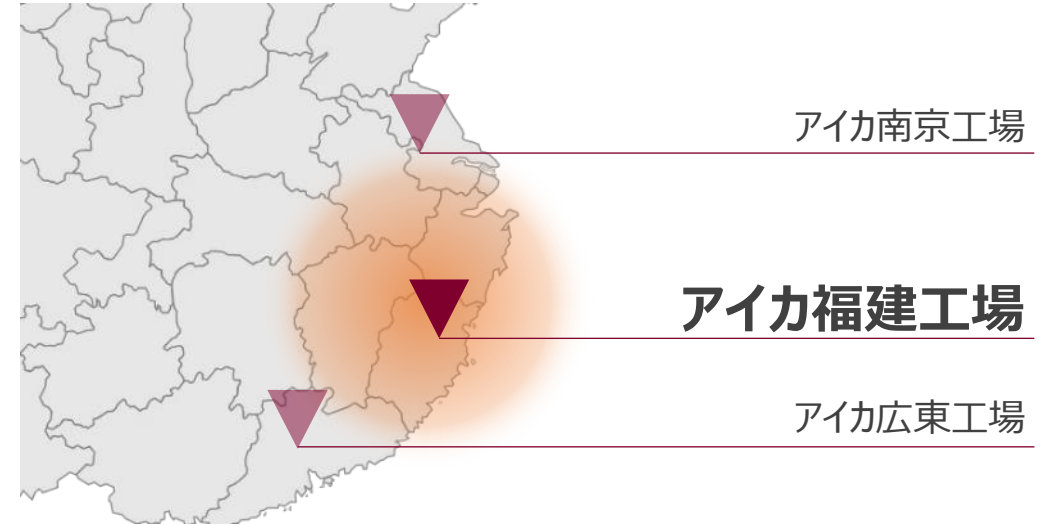
生産品目

フェノール樹脂、
ホルマリン など

用途

竹材用、フロア材用、
合板用 など

福建工場の役割



南京・広東工場では取り込めていない空白地帯の需要獲得

福建エリアのシェア拡大（フェノール樹脂、ホルマリン）

市場規模※ 約55万t/年

2025年 約9%



2030年（計画） **30%**

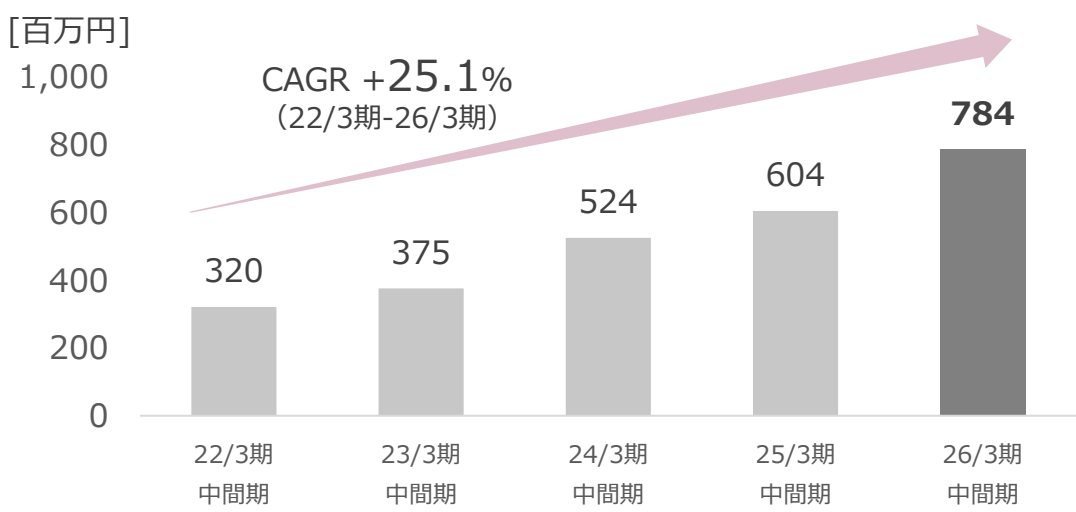
※福建エリアにおける、福建工場生産品目の市場需要量（自社調べ）

接着剤 ホットメルト

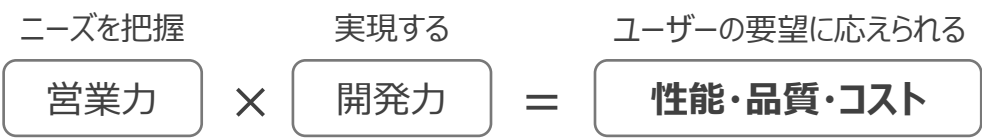
- 自動車ランプ、梱包用が成長をけん引



＜ホットメルト売上高推移＞



＜成長要因＞



▶ ユーザーの要望を的確に捉え、高い競争力で成長を継続

機能材料 3次元加飾フィルム ルミアート

- 海外量産車の外装に初の採用見込み



積極的なプロモーションによりルミアートの認知度を高め、採用へ

▶ 自動車外装用の拡大により、32/3期に売上高**50億円**を目指す

5-6. 建装建材セグメント 商品群別売上計画

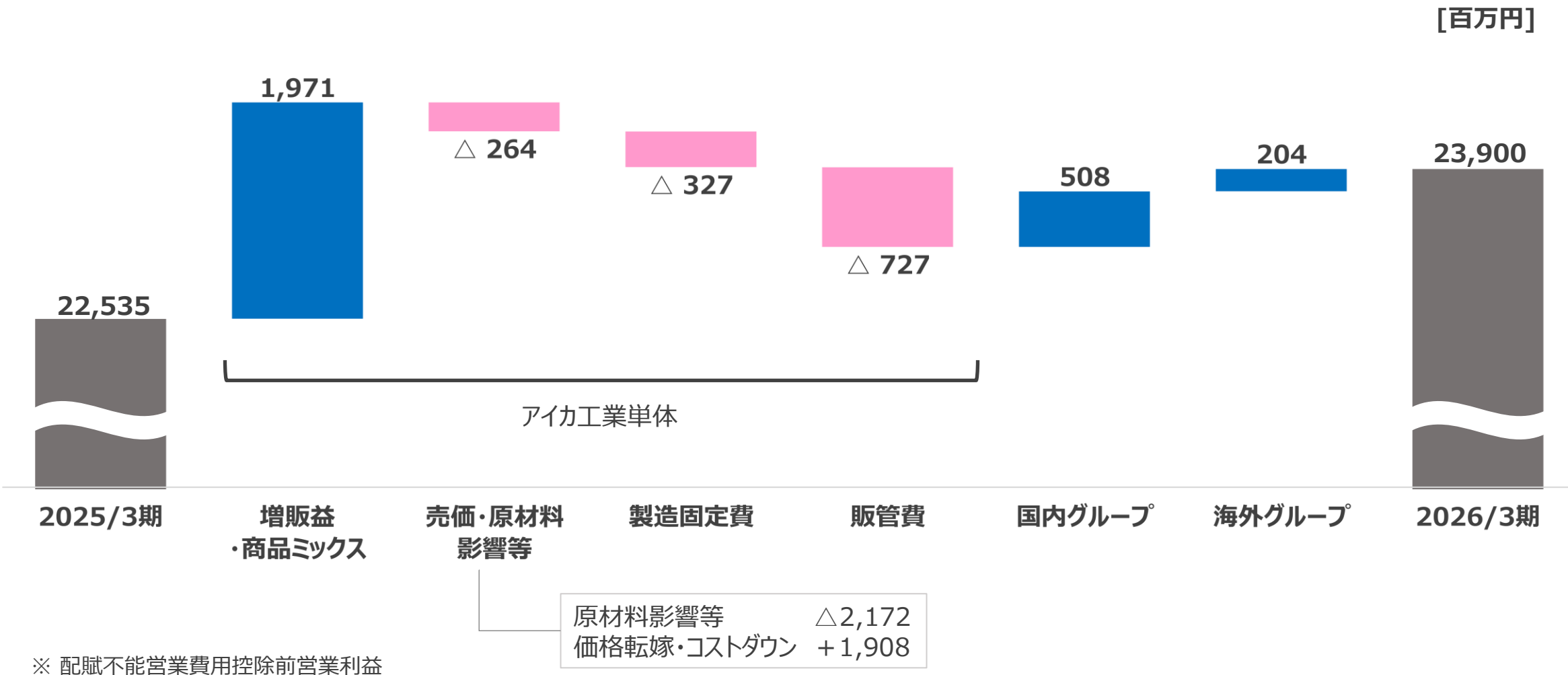


■ 全ての商品群において前年以上、住器建材は前年比10%以上の計画

[億円]	2025/3期 実績	2026/3期 計画	
	通期	通期	前期比
メラミン化粧板	350.9	375.0	+6.9%
ボード・フィルム等	124.6	134.0	+7.5%
セラール	237.7	257.0	+8.1%
不燃建材	74.1	79.0	+6.6%
住器建材	313.5	349.0	+11.3%
合計	1,101.0	1,194.0	+8.4%

5-7. 建装建材セグメント 営業利益計画

- 原材料上昇の影響を見込むが、高付加価値商品の伸長とグループ会社の寄与により増益を計画



5-8. 建装建材セグメント 国内方策

スマートサニタリー

住宅向け

豊富なデザインと手頃な価格

26/3期中間期

売上高 前年比 **+46%**

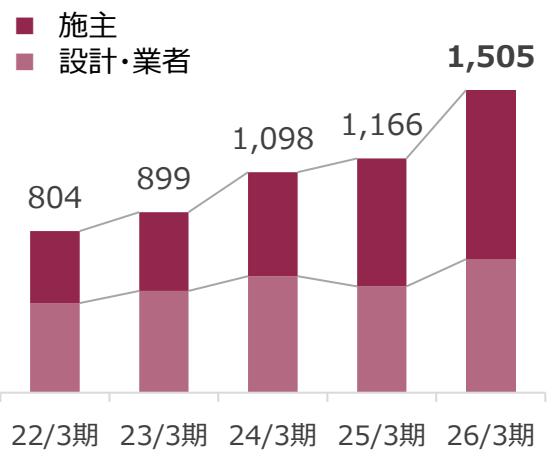
スマートサニタリー



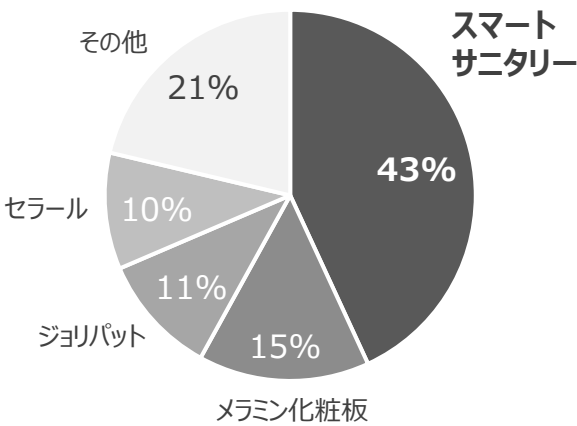
設計：株式会社駒沢建工・キャロットホーム

ショールームの活用

来場者数の推移（組数／月平均）



来場目的（2025年度）



▶ ショールームの活況により今後も成長を続ける見通し

セラール セレント

住宅・非住宅向け

高いデザイン性と施工性

26/3期中間期

売上高 前年比 **+28%**

セラール セレント



設計：(株)アイ工務店

設計：大和ハウス工業(株)

用途拡大

セラール セレントの用途拡大で、住宅向け成長



住宅向け
+36%



非住宅向け
+21%

生産体制強化

海外拠点での製造開始など
生産体制を強化中

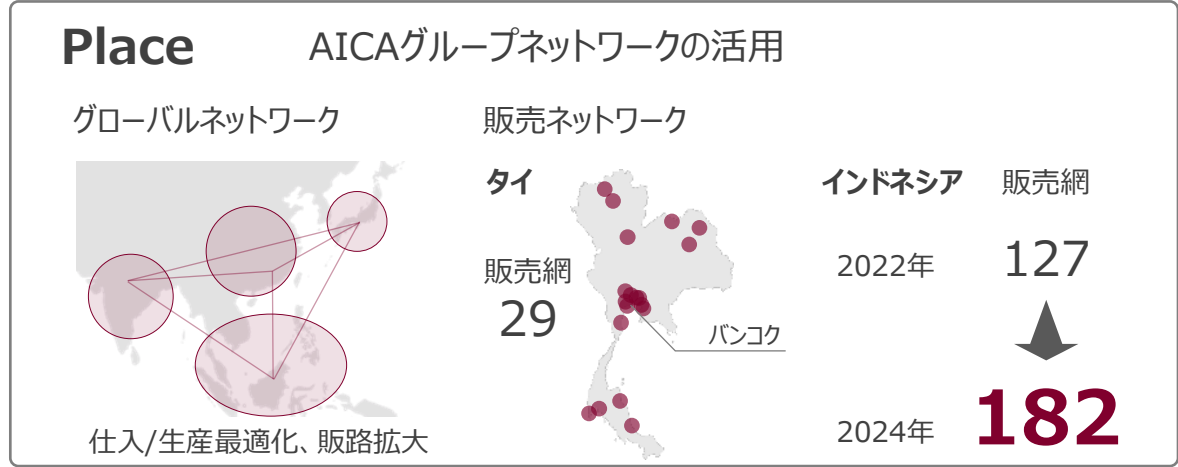
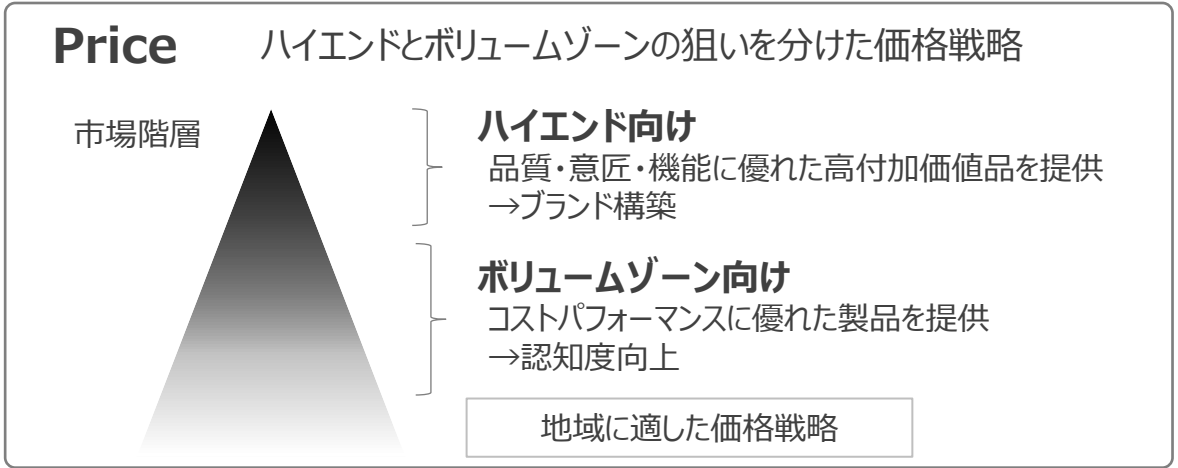
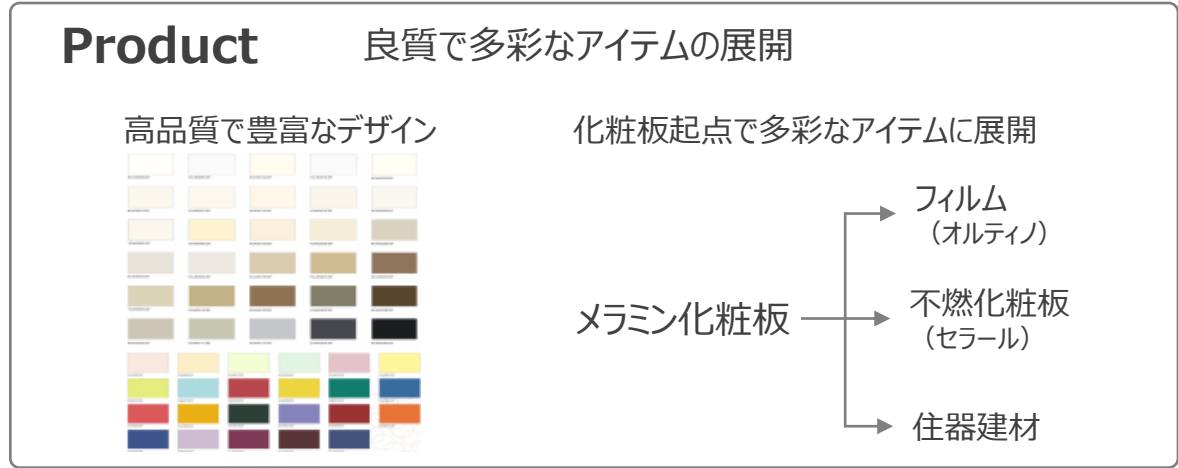


製造キャパは前年の約**2倍**に

▶ 需要の拡大に対応し、生産体制を整え、成長を続ける

5-9. 建装建材セグメント 海外方策

■ ラインナップを拡充し、高い品質を武器に海外市場でシェアを伸ばす



1. ハイライト
2. 2026年3月期 中間期 実績
3. 2026年3月期 中間期 セグメント別実績
4. 2026年3月期 計画
5. 2026年3月期 セグメント別計画
6. 中期経営計画 “Value Creation 3000 & 300” の進捗

6-1. 中期経営計画の進捗（財務目標）



	前中計	1年目	2年目	3年目		4年目
	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期 実績	2026/3期 中間期 実績	2026/3期 通期 計画	2027/3期 計画
売上高 [億円]	2,420	2,366	2,486	1,213	2,650	3,000
経常利益 [億円]	220	261	286	146	300	300
AS商品 ^{※1} 売上高 ^{※2} [億円]	193	217	241	127	270	280
海外売上高比率	51.2%	47.8%	48.0%	46.2%	48.0%	50%以上
R O E	6.9%	9.9%	10.1%	－	10%以上	10%以上
R O I C	8.1%	8.9%	9.6%	－	9%以上	9%以上

※1 AICA Solution 商品の略。様々な社会課題を解決する商品

※2 アイカ工業単体

6-2. 中期経営計画の進捗（セグメント別目標）

		前中計	1年目	2年目	3年目		4年目
		2023/3期実績	2024/3期実績	2025/3期実績	2026/3期中間期実績	2026/3期通期計画	2027/3期計画
化成品	売上高 [百万円]	141,312	130,300	138,587	66,973	145,600	163,000
	営業利益 [百万円]	7,494	9,280	9,331	4,368	9,900	10,500
	営業利益率	5.3%	7.1%	6.7%	6.5%	6.8%	6.4%
	EBITDA [百万円]	11,119	13,406	14,202	6,755	14,900	15,800
	EBITDA率	7.9%	10.3%	10.2%	10.1%	10.2%	9.7%
建装建材	売上高 [百万円]	100,743	106,325	110,109	54,378	119,400	137,000
	営業利益 [百万円]	16,740	20,339	22,535	11,231	23,900	25,000
	営業利益率	16.6%	19.1%	20.5%	20.7%	20.0%	18.2%
	EBITDA [百万円]	19,910	23,254	26,460	13,038	27,500	28,900
	EBITDA率	19.8%	21.9%	24.0%	24.0%	23.0%	21.1%

※ 連結消去後、配賦不能営業費用控除前

6-3. 中期経営計画の進捗（マテリアリティ）



		2026/3期中間期 実績
財務	1 経済価値の提供	売上高1,213億円、経常利益146億円、海外売上高比率46.2%
	2 商品を通じた社会課題解決	AS商品 ^{※1} 売上高 ^{※2} ：127億円 メラミントイル、セラールセレント、スマートサニタリー等が好調
非財務	3 気候変動対応	GHG排出量(スコープ1&2)：2026年度までに2022年度比14%削減に向けて計画通り進捗 連結ベースのスコープ3を算定、9月開示済み。削減目標は検討中 複数の製品でEPD認証取得対応中
	4 人的資本経営の基盤構築	人的資本投資額 ^{※2} ：10億円以上（2026/3期通期見込み） グローバル人材育成：海外新規赴任者2名。新規海外トレーニー1名派遣 エンゲージメントスコア：エンゲージメント向上活動施策を立案し、鋭意推進中
	5 DX対応	自動化・省人化に資する設備投資額、情報化投資額：151百万円
	6 ガバナンス強化	BCP体制、地震防災規程見直し。水害リスク再評価。下期全サイトBCP訓練実施予定 国内グループ会社の主要サプライヤーへのCSR調査結果を分析中 ファイヤーウォール・VPNソフト常時最新化を維持。ITガバナンスに関する情報共有会を継続開催
	7 品質保証・労働安全	重大な労災件数0件。休業災害件数7件（昨年度通期より減少の見通し）

※1 AICA Solution商品の略。様々な社会課題を解決する商品 ※2 アイカ工業(株)単体

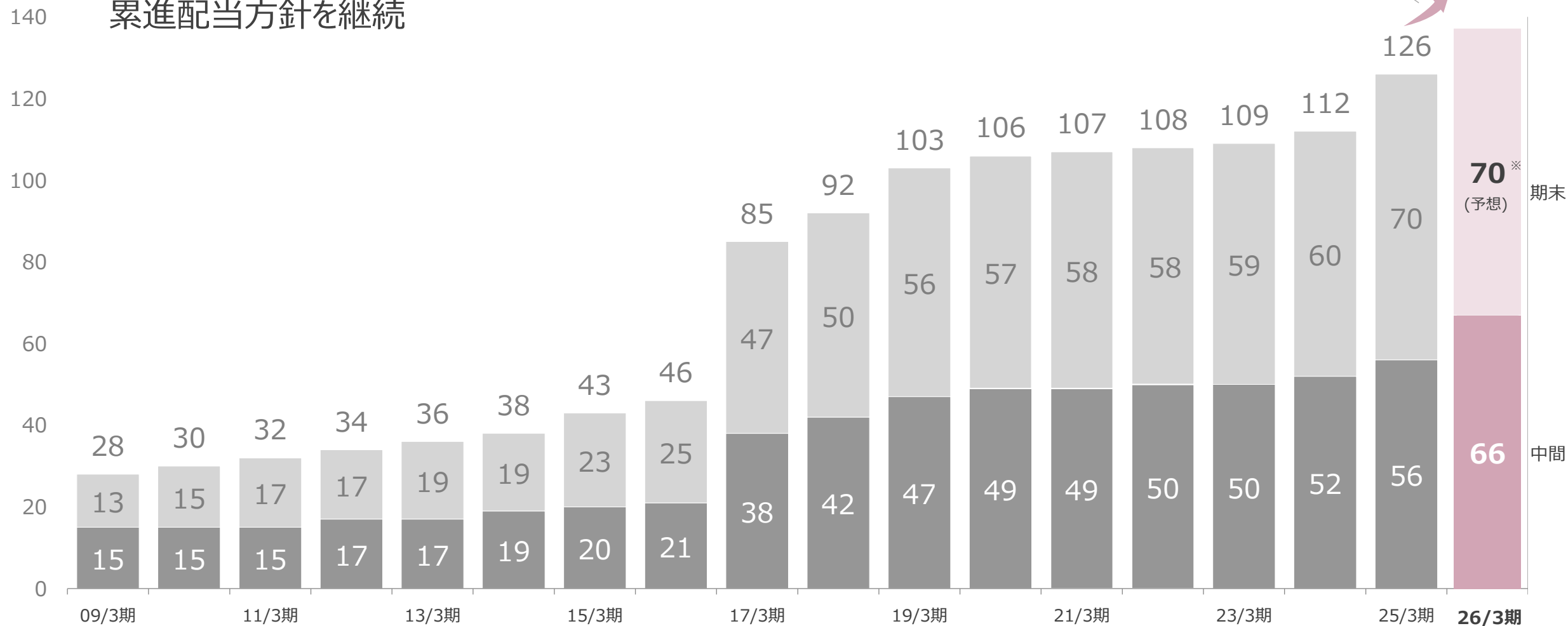
6-4. 配当

■ 16期連続増配、27期連続減配なし (25/3期まで)

[円]

+10円

累進配当方針を継続



※2026年3月期の期末配当は、現時点の予想値です。



アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。